



祭りを盛り上げたみこしと太鼓台の攻防

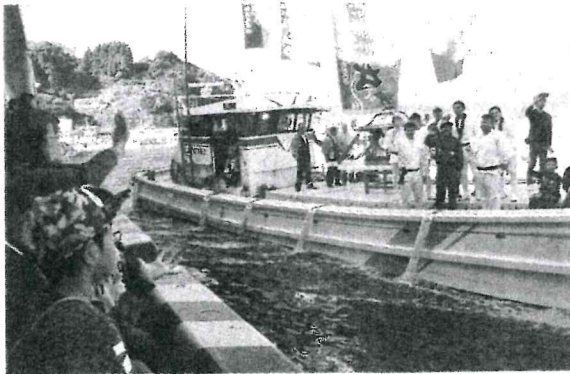
みこしと太鼓台が競り合い

海上渡御に会場沸く

延岡

延岡市島浦町の「島野浦神社」は24日、同神社周辺などであり、島の内外から訪れた家族連れなどでにぎわった。

24日の「よじん晩」では、御神体を乗せたみこしが御小屋(みこや)に降臨。港や湾内を照らす「漁船灯火」や神楽奉納が前夜祭を彩った。



漁船の隻に下る海上パレード



地元児童による島っ子ソーラン

25日の「本祭り」では、島内を巡行。みこしは早朝からみこしや太鼓台がそのまま漁船に乗り込む

で海上渡御(とぎよ)へ。随伴合わせて計6隻の船によるパレードが会場を沸かせた。

その後、神社前でも会ったみこしと太鼓台が競り合いに突入。互いを

掛け合わせたの「喧嘩神輿(けんかみこし)」は行われなかったものの、鳥居をくぐって帰ろうとするみこし、それを引き留めようとする太鼓台の白熱した「攻防」で祭りの盛り上がりは最高潮に。見物客からは大きな拍手が送られ歓声が響いた。数多くの大漁旗がはためく会場では、地元の子供たちによる「島っ子ソーラン」や獅子舞などの披露、魚すくい取り、餅まきなどのほか、地場海産物の販売も行われ、祭りを華やかに演出。

初めて島を訪れたという日向市の土井研二さん(58)、尚代さん(59)夫婦は「この日は、県北でいろいろなイベントがあっ

たけど、ここを選んでよかった。活気があっていいお祭りですね」と話した。